

# 「学びの共同体」授業研究会



## 奥間っ子

奥間小学校  
第32号  
校長 久高利美子

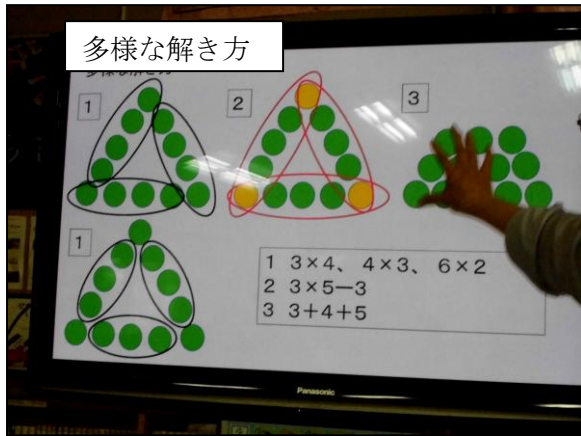
### 「めざす学校像」 学ぶことが楽しい学校

あいさついっぱい 花いっぱい  
友だちいっぱい 読書いっぱい

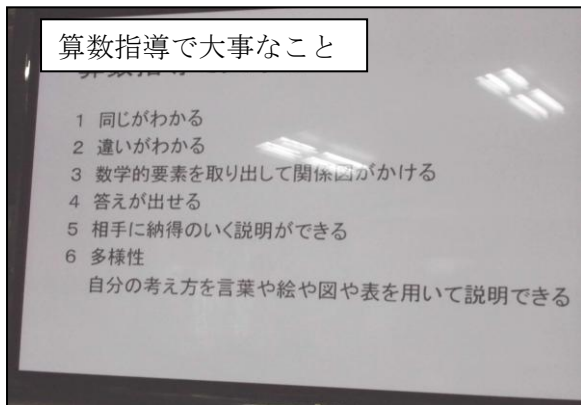
11月29日 日曜日  
は学習発表会  
12月11日 金曜日  
は授業参観です。  
是非いらして下さい。

十一月四日「学びの共同体」講師佐藤雅彰先生を招聘して、授業研究会を行いました。五校時全学年の授業公開、六校時は五年生算数の授業をめぐみ先生にやってみてもらいました。授業後の協議会で振り返りを行いながら、本校の課題について、アドバイスをいただきました。保護者の皆様へお伝えし、本校が目指す授業のスタイルについて共有できたらと思います。

本校学校評価、児童・保護者へのアンケートで課題に挙げたのは、「聴き合う」の徹底ができていないことです。「学びの作法」を身につけさせるために次の事を徹底していきます。  
○最後まで人の話を聞く。|| 他者と出会うことの大切さを身につけさせる。  
○「教えて・わからない」が言えるように、その子が友だちに発するまでそばにいる。  
○人を小馬鹿にする発言があるときは、きちんと叱る。一年から徹底して行う。



多様な解き方

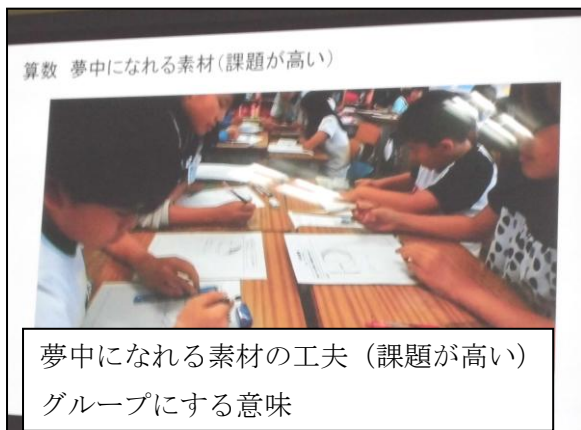


算数指導で大事なこと

- 1 同じがわかる
- 2 違いがわかる
- 3 数学的要素を取り出して関係図がかける
- 4 答えが出せる
- 5 相手に納得のいく説明ができる
- 6 多様性  
自分の考え方を言葉や絵や図や表を用いて説明できる



一人で到達できる水準から仲間や教師のケア、道具の介助によって到達可能な範囲をZPDという。(ヴィゴツキー理論)  
子ども達の「居場所」を中心とした授業展開が互恵的な学びを生起させる



算数 夢中になれる素材(課題が高い)

夢中になれる素材の工夫(課題が高い)  
グループにする意味



環境をつくる(グループ学習)